



第3次日野市ごみゼロプラン

～ごみゼロ社会を目指して～（日野市一般廃棄物処理基本計画）

事業者のみなさまへ



1. 計画策定の背景と目的

第3次ごみゼロプラン（以下、「本計画」という。）は、「ごみゼロ社会」の実現に向けて、多様化する廃棄物の資源化や、更なるごみ減量のための施策及び取り組みを示した計画です。

本計画は、平成27年度から平成28年度にかけて「第3次日野市ごみゼロプラン策定委員会」を立ち上げ、市民・事業者が参画した約40名の委員と共に、理解しやすい計画を目指して策定されました。詳細は、日野市ホームページ（<http://www.city.hino.lg.jp/>）をご覧ください。

2. 第3次ごみゼロプラン ～事業者のみなさまに実施していただきたい取り組み（抜粋）～

すべての事業者のみなさまへ

①ごみ・資源物の適正排出を！

- ・一般廃棄物・産業廃棄物の区分を理解し、適切な排出・処分を行いましょう。

●産業廃棄物とは

事業に伴って排出される廃棄物で、法令で指定されている20種類の廃棄物です。

産業廃棄物は、事業者自らが適正に処分しなければなりません。（市では処理できません。）

〔産業廃棄物の例〕



廃プラスチック類



ガラスくず



コンクリートくず



繊維くず

②まだ使用できるものはリユースへ！

- ・事務用機器等を処分する際は、まだ使用できるものはリユースできないかを検討しましょう。（リユースショップの使用等）



③「分ければ資源」を合言葉にごみの分別を！

- ・資源となる廃棄物は可能な限り分別して資源化し、ごみの減量に協力しましょう。



販売店舗のみなさまへ

①容器包装お返し大作戦への参加を！

- 容器包装を利用する商品を販売されている店舗は、できる限り回収ボックスを設置し、回収・資源化に取り組みましょう。

●容器包装お返し大作戦とは

日野市では、市内スーパーを中心に回収ボックスを設置していただいております。容器包装を購入した店舗に返却する取り組みを推進しています。



②レジ袋の無料配布中止を！

- レジ袋の無料配布を中止し、市民がマイバッグを持参する環境整備に協力しましょう。

●都民ファーストでつくる「新しい東京」

東京都では、新しい東京をつくるための具体的な政策を策定しており、その中で「“もったいない”意識の定着」を目的に2020年度までにレジ袋の無料配布ゼロを掲げています。



飲食店舗のみなさまへ

①食べ切りサイズの提供を！

- 少量メニューや宴会料理の食べ切り推奨（3010運動等）などに協力しましょう。

●3010運動とは

宴会の開始30分と終了10分前は自席に戻って提供された料理を食べきる取り組みです。

宴会開始前にお客様への周知をお願いします。

日野市は、「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加しています。



②食品リサイクルへの取り組みを！

- 事業系生ごみ（食品ロスや食品残渣）の堆肥化やバイオマスリサイクルの検討などを行い、食品廃棄物の資源化に取り組みましょう。

